

# 社会みんなで支えるしがの家庭教育

学校・地域・企業など、社会全体で家庭教育を応援します!



詳しくはこちら

家庭が子どもにとって安心して過ごせる居場所となり、親子の会話やふれあいを通じて、生きていくうえで基本となる力や心が育まれることが大切です。県教育委員会では家庭教育支援の充実に向けた取組を進めています。

## 「届ける家庭教育支援」地域活性化事業

### 保護者が元気になる訪問型家庭教育支援

子育てについて自分から相談に行くには勇気がいるものです。訪問して、相談相手になってくれる人がいることで、保護者の心に余裕ができ、安心して子どもと向き合えます。訪問型家庭教育支援チームは、家庭と学校、家庭と地域をつなぎ、子育て家庭を応援します。

#### (例1) 登校支援・家庭訪問

登校しづらい子どもと一緒に学校まで話をしながら登校しています。また、家庭訪問をするなど、地域住民ならではの温かい支援を行っています。



#### (例2) 学びの場、交流の場への参加

家庭訪問をする中で、子育ての学びの場・相談の場などの情報提供を行っています。保護者が気軽にこうした場へ参加することが増えてきました。



## 家庭教育出前講座

家庭教育に関する出前講座を県教育委員会の職員がファシリテーターとなって実施しています。

### 参加者の声

- 大人が決めたルールをただ守らせるのではなく、家族みんなで話し合っ、大人も子どもも守ることが大切であると思いました。
- インターネット抜きの生活は考えられないので、上手に付き合っ生活していく方法のヒントが得られました。親子の関わり方をもう一度見直してみようと思いました。



家庭における子どものインターネットの利活用について、考え、学ぶための啓発リーフレットを作成しています。資料はこちらの二次元コードからダウンロード可能です。ぜひ御活用ください。



## しがふあみ(滋賀県家庭教育協力企業協定制度)

家庭教育の充実に向けた職場づくりをはじめ、社会全体で子どもの育ちを支えるために、自主的に取り組んでいただける企業と滋賀県教育委員会が協定を結び、協力して滋賀県の家庭教育の充実を図っています。(※1,500の企業・事業所と締結 令和5年11月1日現在)

### わが社での家庭の教育を支える取組事例

#### 【取組1】ポスターの掲示

ポスターを掲示して、「家庭の教育」について啓発活動を推進する。

#### 【取組2】職場体験の受け入れ

中学生チャレンジウィークとして、5日間の職場体験を2名程度受け入れる。

#### 【取組3】子どもの夜の居場所づくり(フリースペースの運営)

家庭等の課題を抱えている子どもやその保護者へ生活・学習等の支援を行う。

#### 【家庭教育サポート講座】

専門的な知識を持つ講師を派遣し、ICTも活用する等して企業・事業所等による家庭の教育力を高める取組を支援しています。



#### 【家庭教育啓発ポスター】

企業・事業所等の協賛を得て、家庭教育啓発ポスターを作成しています。しがふあみ締結企業等のほか、県内の学校にも配布しています。



## 子育て・親育ち語り合い講座

子どもとの関わり方や基本的な生活習慣の大切さ、子育ての不安の解決方法等について、保護者対象の講座を実施することで、家庭教育についての学びをサポートしています。

### 参加者の声

- いろいろな世代の子どもを持つ保護者の方と話ができて、とても参考になりました。子どものことを話すことで気持ちがすっきりしたので、よかったです。
- 様々な立場の家庭教育に関わる方々からお話を聞くことができ、とても勉強になりました。今後の参考にします。



家庭教育学習資料を活用し、保護者同士が語り合うことを通じて、子育ての理解を高めるとともに仲間づくりを進めています。資料はこちらの二次元コードからダウンロード可能です。ぜひ御活用ください。



問合せ先 生涯学習課 ☎077-528-4654

## 学ぶ力向上 第Ⅱ期学ぶ力向上滋賀プラン

# 「読み解く力」を高め、「わかった」「できた」につながる授業づくりを進めています

### 「読み解く力」とは…

文章や図、友達とのやりとりなどから、様々な情報を読み解き理解する力、そして理解したことをもとに自分の考えをもつ力のことです。教科等の学習や普段の生活、本や新聞を読むことなどでも「読み解く力」を高めることができます。

県教育委員会では、子どもたちの「読み解く力」を高め、「わかった」「できた」を実現する授業づくりに取り組んでいます。今年度は、これまでの取組の成果をもとに、各学校が「読み解く力」を高める授業改善をさらに進めています。

## 先生が「読み解く力」を高める授業づくりに取り組んだことで、子どもたちの学びの姿が変わりました

各学校では、1人1台端末や学校図書館等を効果的に活用し、「何をどのように学ぶのか」という視点を大切に授業づくりに取り組んでいます。各学校の校内研究を活性化し、子どもが目的意識をもって学び、各教科等で目指す資質・能力を身につけるための様々な取組が行われています。



「読み解く力」の視点を踏まえた授業の実践



子どもの学びの姿から語り合う校内研究会の実施

問合せ先 幼小中教育課 ☎077-528-4662

## 授業改善により、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができたと実感する子どもが増えています



### 令和5年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙質問項目

学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

